

成果指標				
成果指標	主要水防訓練出動人員／水防訓練出動予定人員 市水防工法訓練(予定:140人)、肱川総合水防演習2回(予定:40人) 水防工法指導者養成講習(予定:2人)			
指標設定の考え方	訓練参加団員の参加率により、訓練出動手当のコストパフォーマンスをみることができる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100	100	100	0
実績	97.4	95.6	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>今年度は、例年実施の市水防工法訓練に加え、肱川総合水防演習に参加をし、消防団員のスキルアップにつなげることができた。今後も、梅雨時期や台風襲来、また、近年頻発しているゲリラ豪雨等による水害に備えて、各種訓練や研修に積極的に参加し、水防に関する知識の習得や技術の向上に努めていくことが重要である。</p> <p>なお、本年度は幸いにも当市において豪雨等により消防団の出動の必要がある水害は発生しなかったため、水防出動に伴う予算執行はわずかでありましたが、次年度以降も、いつどの位の規模で発生するか分からない水害に備え、水防に関する出動手当(訓練手当を含む)を引き続き適正に予算計上しておく必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	<p>風水害、台風等被害での出動はほとんどなく、訓練手当の支給となっている。自己の課題認識にもあるように、水害に備え水防に関する知識の習得、技術の向上は必要不可欠で、引き続き団員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題